

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立横堤中学校 学校協議会

1 総括についての評価

運営に関する計画（最終評価）の総合評価としては「B」であるが、学校の取り組みとしては、「安全・安心な教育の推進」「未来を切り拓くための学力・体力の向上」「学びを支える教育環境の充実」のそれぞれの項目において、その成果が各種指標に現れており、評価できる結果となっている。特に学校評価アンケートにおいては、生徒、保護者双方から高い評価を得ている。今後は、数字には現れない部分についての対応も重要である。

全国学力・学習状況調査、中学生チャレンジテスト（3年）、G-TECにおいて、大阪府平均・全国平均を大幅に上回る結果となっている。学力に関しては、中学校に入学してからの伸長が顕著である。逆に、学校におけるICTの活用に関しては、小学校では大阪市の指標を達成しているが、中学校ではまだ届いていない状況で、改善の余地がある。全国体力・運動能力、運動習慣等調査においては、昨年度同様に女子は全国を上回る結果となった。男子の結果が伸び悩んでいることについては、小学校からの傾向もある。

不登校対策については、取り組みの成果が数字に現れている。関係諸機関との連携はもちろんのことであるが、教員一人ひとりの熱心な取り組みの成果であると思われる。

2 年度目標ごとの評価

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標

- 校内調査「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、最も肯定的な「思う」と回答した生徒の割合は 82.5%で目標を上回った。「まあそう思う」を加えると 97.1 %の生徒が肯定的な回答をした。
- 今年度の不登校生徒数は 22 名で、在席(279 名)比率は 7.9%で、昨年度(8.1%)より改善している。
- 前年度から継続した不登校生徒のうち、今年度改善傾向にあった生徒は 11 名である。担任を中心に、学年や関係諸機関との連携など、組織的な対応によって、少しずつ登校へつなげていくことができた。

学校園の年度目標

- 校内調査「学校に行くのは楽しいと思う」に対して、肯定的回答をした生徒の割合は 83.7%で目標を上回った。
- 校内調査「人の役に立つ人間になりたいと思います」に対して、肯定的回答をした生徒の割合は 95.0%で目標を大きく上回った。
- 全国学力・学習状況調査における質問紙で「自分にはよいところがあると思いますか」に対して肯定的回答をした生徒の割合は 90.5%で目標を上回った。
- 校内調査「学校では、よりよい集団生活が送れるように、様々な取り組みが行われている」に対して肯定的回答をした生徒の割合は 93.7%、「学校で、様々な教育活動を通して、望ましい集団生活づくりに努めている（保護者対象）」に対して肯定的回答をした保護者の割合は 95.6%と、いずれも目標を大きく上回った。
- 校内調査「私は、学校生活において定められたルールや規則、マナーを自ら進んで守っている」に対して肯定的回答をした生徒の割合は 95.8%、「学校は、生徒にルールや規則、マナーを進んで守るように指導している」に対して肯定的回答をした保護者の割合は 95.5%と、いずれも目標を大きく上回った。
- 校内調査「学校は、教育活動の様子について、ホームページや通信等で積極的に情報発信をしている」に対して、肯定的回答をした保護者の割合は 97.8%で目標を上回った。
- 校内調査「学校は、いじめや暴力がない学校づくりに積極的に取り組んでいる」に対して肯定的回答をした保護者の割合は 94.0%と、目標を大きく上回った。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上・体力の向上】

全市共通目標

- 校内調査「学級の生徒との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して肯定的な回答する生徒の割合は 82.1%で、目標の 85%を達成することができなかった。
- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の、同一学年での対府比は 3 年で国語が 1.163(昨年度より +0.028)、数学が 1.169(昨年度より -0.05) という結果であった。
- 大阪市英語力調査における、CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する 3 年生の割合は 65.12%と、目標を達成することはできなかったが、大阪市平均の 57.5%に対しては 7.62 ポイント上回っている。
- 校内調査「運動(体を動かす遊びを含む体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きである」に対して、最も肯定的な「思う」と回答した生徒の割合は 63.3%で目標を上回った。

学校園の年度目標

- 全国学力・学習状況調査の国語における「思考・判断・表現に関する項目」の平均正答率は 72.3%で、昨年度(70.9%)より 1.4%増加したが、目標の +2%には至らなかった。
- 校内調査「授業の内容はわかりやすく、興味や関心、学習意欲が高まるように工夫されている」に対して肯定的回答をした生徒の割合は 91.3%、「学校は興味や関心が高まるような授業づくりに努めている」に対して肯定的回答をした保護者の割合は 94.8%と、いずれも目標を大きく上回った。
- 全国体力・運動能力・運動習慣等調査の「体力合計点」において、男子は 38.03 で全国平均(41.86)より 3.83 ポイント下回った。女子については 50.64 で全国平均 (47.37) より 3.27 ポイント上回っている。
- 校内調査「学校では、健康管理や体力向上に向けた取り組みを進めている」に対して肯定的回答をした生徒の割合は 95.0%、「学校は、生徒の健康管理や体力向上に向けての指導に努めている」に対して肯定的回答をした保護者の割合は 94.0%と、いずれも目標を上回った。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標

- 授業における学習用端末の活用は順調に進んでいるが、「授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 90%以上にする。」の目標については、まだまだ届いていない状況である。
- ICT を活用した研究授業を、全教科で実施し、教員が全員参加した研究協議会を実施した。
- 年次有給休暇を 10 日以上取得している教職員は、1 月末現在で、32 名中 22 名 (68.8%) となっている。

学校園の年度目標

- 「ゆとりの日」を毎月 1 回設定して 17 時での退勤を進めてきた。
- 校内調査「学校では、ICT 機器を利用した授業において、自分で考え、判断する機会や発表する場が設けられている」に対して肯定的回答をした生徒の割合は 84.6%、同質問において肯定的回答をした保護者の割合は 89.6%と、いずれも目標を上回った。

3 今後の学校運営についての意見

- ・一小一中の関係であることの利点を生かし、小中連携をいっそう進めてほしい。小学校における児童の課題を検討することで、中学校での指導方法の工夫改善を進め、9 年間を見通した教育の実践につなげてほしい。
- ・いじめや不登校の対策は学校だけでなく、関係諸機関や地域と連携を強化することで改善を進めてほしい。地域としても、こども達を見守る体制を整えていきたい。
- ・全国学力学習状況調査、中学生チャレンジテスト、G-TEC 等、学力面での成果は顕著であるが、全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男子の運動能力には改善の余地がある。部活動のさらなる活性化を進めてほしい。
- ・学校選択制において選ばれる中学校を目指してほしい。